宮城の全症例登録へ

悪性リンパ腫

「治療・研究モデル地域に」

東北大院教授ら財団設立

血液がんの半数を占める悪性リンパ腫＝？＝の研究を進めるため、東北大大学院医学系研究科の教授らが財団法人を創設した。宮城県内の全症例登録を目指しており、約二十の医療機関が協力。年間約三百人の発症患者のデータを集約して症例を精査し、医療水準の底上げや新治療法の開発につなげる。県単位で症例を集めるのは全国初の試みで、宮城を悪性リンパ腫の診断や治療、研究のモデル地域にしたい考えだ。

財団法人は、医学系研究科の一迫玲教授（血液病理学）が私費を投じて設立し、昨年十月に宮城県の認可を得た。理事長には真壁病院（東松島市）の佐藤功血液・免疫科部長が就いた。

悪性リンパ腫の症例登録を事業の柱と位置付け、患者の検査データや治療実績を集めて疫学研究を進める。経過を長期観察し、治療効果も検証する。発症原因を解明する基礎研究や臨床研究にも取り組む。

県内の悪性リンパ腫の病理診断は、九割以上が東北大病院で行われている。一迫教授は「人口の移動も少なく、情報を集めやすい宮城の特徴を生かし、100％の症例登録を目指す。まず数年後には発症率を明らかにしたい」と言う。

症例登録には東北大病院のほか、石巻赤十字病院、宮城県立がんセンターなどが協力する。倫理委員会の承認を得て、二〇一〇年にも登録を始める。

財団は骨髄バンクなどの活動支援事業も展開する。将来はほかの血液のがん、白血病や多発性骨髄腫にも症例登録を広げる方針だ。

理事を務める医学系研究科の張替秀郎教授（血液内科学）は「医療機関が情報を共有し、宮城県内の悪性リンパ腫の標準治療の均てん化（平準化）を図る。いずれは有効な治療法を宮城から発信したい」と話している。

？ 悪性リンパ腫　白血球の中のリンパ球ががん化し、全身に発生する。国内で年間約1万人が発症するとされるが、正確な罹患（りかん）率は不明。病気の型は50以上に分かれ、診断が難しい。化学療法や放射線療法、抗体療法が有効とされる。

県境産廃が財政圧迫

代執行費用 回収できず

青森県

青森、岩手県境で不法投棄された産業廃棄物の処理に伴う行政代執行費が、青森県の財政を圧迫している。二〇〇七年度一般会計決算では、収入未済額の七割を産廃処理費用が占めた。不法投棄した業者は経営破たんしており、費用を回収する見通しは立たないのが現状だ。

県の〇七年度一般会計決算の収入未済額は約百三十億二千万円（前年度約九十三億一千万円）で、うち県境産廃の処理費が約九十四億六千万円（約

とうほく食材の泉

はらこ

サケの卵巣にある熟成卵をばらしたもので、普通イクラと呼ばれている。イクラは「魚の卵」を意味するロシア語に由来する呼び名

紅白の

り出す。それから海水程度の塩水に入れ、はらこを慎重に取り出す。塩水で何度か洗った後、水を切り、しょうゆや塩に漬けておくと

授業時間増78％評価

学力テスト公表72％賛成

世論調査

河北新報社など加盟の日本世論調査会が昨年十二月に実施した全国世論調査によると、小中学校の新学習指導要領で「ゆとり教育」を見直し、今春から授業時間数を増やすことについては、「評価する」「どちらかといえば評価する」が合わせて78％に上った。自治体で対応が分かれる全国学力テストの市町村別や学校別の結果公表は「賛成」「どちらかといえば賛成」と考える人が72％となった。

61％は日本の学力は世界的に高い水準としたが、低いと考える人も37％いた。子どもの学力低下が指摘される中、新指導要領を肯定的にとらえ、水準把握の手段として、学テに期待をかけている実態が判明した。

授業時間増は「評価する」38％、「どちらかといえば評価する」が40％。「評価しない」「どちらかといえば評価しない」の計19％を上回った。

評価する理由で最多だったのは「必要な学力は身に付けなければならない」が36％。次いで「学力が低下している」が30％。評価しない理由では「子どものゆとりがなくなる」が31％だった。

学テでは、文部科学省が一律の形では認めていない市町村別や学校別の結果公表に「賛成」が38％、「どちらかといえば賛成」が34％。「反対」「どちらかといえば反対」は計24％だった。賛成理由は「子どもの学力水準を知ることができる」が31％。「課題が明らかになり改善が期待できる」が29％で続いた。

反対理由では「学力の一部を公表しても意味がない」が41％、「地域や保護者の過剰反応が予想される」が25％あった。

85％の人が学テ継続を望み、理由では「水準を知ることができる」が36％で最多。反対理由は「過度な競争や序列化」が56％と過半数を占めた。

今の教育の問題点（複数回答）としては「受験

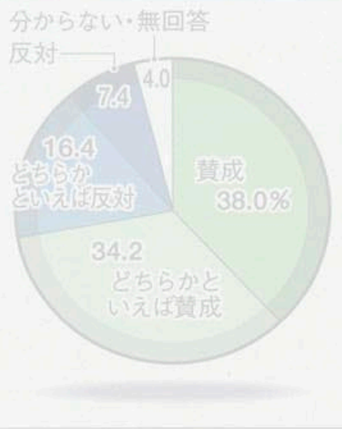
調査の方法　層化二段無作為抽出法により、1億人余の有権者の縮図となるように全国250地点から20歳以上の男女3000人を調査対象者に選び、昨年12月6、7の両日、調査員がそれぞれ直接面接して答えてもらった。転居、旅行などで会えなかった人を除き1833人から回答を得た。回収率は61・1％で、回答者の内訳は男性48・0％、女性52・0％。

「詰め込み型」には拒否感

【解説】授業時間が増える学習指導要領を80％近くの人が評価した日本世論調査会の調査結果は、多くの人が子どもたちの学力向上に期待を寄せつつも、今の教育が抱える問題点として「受験教育に偏重した詰め込み型」を挙げたことに留意すべきだろう。

教科書丸覚えのような暗記重視ではなく、指導要領改定にあたって中教審が昨年示した「知識・技能を活用し、課題を発見して解決する力」が必要とする学力観を支持し

全国学力テストの市町村別・学校別結果公表の賛否



調査結果

（数字は％）

問１　あなたは日本の学力は世界的にみて、どの程度の水準にあると思いますか。

高い水準にある	6.8
どちらかといえば高い水準にある	53.9
どちらかといえば低い水準にある	30.9
低い水準にある	5.9
分からない・無回答	2.5

問２　あなたは日本の教育のどこに問題があると思いますか。二つまでお答えください。

小中学校での基礎の徹底が不十分	30.5
受験対策に偏った詰め込み教育	33.3
専門知識を身に付けさせることができていない大学教育	15.8
子ども、学生に学習意欲が欠けている	25.4
教育予算や教員が少ない	10.7
教員の質が低下している	30.0
ゆとり教育に偏重して競争が足りない	18.2
家庭教育や保護者の学校への協力が不十分	19.8
特に問題はない	1.5
その他	1.1
分からない・無回答	1.9

問３　文部科学省は学習指導要領を改定し、小中学校については2009年４月から一部が実施されます。これまでのいわゆる「ゆとり教育」を変えます。「総合的な学習の時間」を減らす一方で、算数などの授業時間を増やします。小学校での英語教育も始まります。あなたは授業時間数の増加を評価しますか、評価しませんか。

評価する	38.0
どちらかといえば評価する	39.6
どちらかといえば評価しない	13.6
評価しない	4.9
分からない・無回答	3.9

問４（問３で「評価する」「どちらかといえば評価する」と答えた人に聞く）あなたが評価する最も大きな理由は何ですか。（回答者1423人）

これまでの授業時間数が少なすぎたから	17.1
子どもの学力が低下しているから	30.2
必要な学力は身に付けなければならないから	36.4
塾に行くことが減るから	2.0
「総合的な学習の時間」にあまり意味がなかったから	6.7
小学校から英語教育が始まるから	3.5
その他	0.2
分からない・無回答	3.9

問５（問３で「どちらかといえば評価しない」「評価しない」と答えた人に聞く）あなたが評価しない最も大きな理由は何ですか。（回答者338人）

これまでの授業時間数で十分だから	11.8
子どもの学力が低下していないから	3.0
子どものゆとりがなくなるから	31.1
塾通いが減ることはないから	16.6
「総合的な学習の時間」が良かったから	11.5
小学校から英語教育をしても意味がないから	12.7
その他	5.3
分からない・無回答	8.0

問６　文部科学省は2007年から43年ぶりに全国の小学６年生、中学３年生を対象とした全国学力テストを復活させました。あなたは全国学力テストの結果を市町村別や学校別に公表することに賛成ですか、反対ですか。

賛成	38.0
どちらかといえば賛成	34.2
どちらかといえば反対	16.4
反対	7.4
分からない・無回答	4.0

問７（問６で「賛成」「どちらかといえば賛成」と答えた人に聞く）あなたが賛成する最も大きな理由は何ですか。（回答者1323人）

子どもの学力水準を知ることができるから	30.6
保護者や地域で学力の情報を共有する必要があるから	16.6
公表し競うことによって学力が向上するから	22.1
自治体や学校の課題が明らかになり、改善の効果などを把握できるから	29.3
その他	0.3
分からない・無回答	1.1

問８（問６で「どちらかといえば反対」「反対」と答えた人に聞く）あなたが反対する最も大きな理由は何ですか。（回答者437人）

過度な競争や序列化につながるから	23.1
地域や保護者の過剰な反応が予想されるから	24.5
学力の一部にしか過ぎないテスト結果を公表しても意味がないから	40.7
いじめや仲間外れが起こりそうだから	9.4
その他	1.6
分からない・無回答	0.7

問９　あなたは今後も全国学力テストを続けることに賛成ですか、反対ですか。

賛成	49.7
どちらかといえば賛成	34.9
どちらかといえば反対	8.1
反対	4.0
分からない・無回答	3.3

問10（問９で「賛成」「どちらかといえば賛成」と答えた人に聞く）あなたが賛成する最も大きな理由は何ですか。（回答者1550人）

自治体や学校の課題発見につながるから	28.2
継続して実施しないと統計的な意味がないから	24.6
全国的な競争が必要だから	10.5
子どもの学力水準を知ることができるから	35.5
その他	0.6
分からない・無回答	0.6

問11（問９で「どちらかといえば反対」「反対」と答えた人に聞く）あなたが反対する最も大きな理由は何ですか。（回答者222人）

自治体や学校の課題発見につながらないから	17.6
既に課題発見の目的を果たしたから	1.8
過度な競争や序列化につながる恐れがあるから	56.2
期待される効果に比べ、費用が掛かりすぎるから	19.4
その他	0.9
分からない・無回答	4.1

問12　あなたには現在、20歳未満のお子さんがいますか。

いる	28.6
いない	70.9
分からない・無回答	0.5

【注】複数回答では、比率の合計は100％を超える